

議会だより

No.
176

令和6年4月17日

おながわ

心待ちにした「春」

もっといい女川(まち) (施政方針)	2～3
前年度比約10億円増 (予算審査)	4～9
介護保険料改正 (一般議案)	10
女川原発のいまを視察 (委員会活動)	11
ズバリ! 町政を問う (7議員が一般質問)	12～19

未来へ」の想いは ピーな町づくりをみんなで



3月 定例会



の視点

会期
3月1日～3月12日

3月定例会のあらまし

議員7人による一般質問の後、須田善明町長の施政方針に対する質疑を行い、町財政や町づくりなどについてただし、また提案もしました。

町提出案件は31件で令和6年度一般・特別・事業会計予算などを審議、すべて原案のとおり可決しました。

※町長の施政方針全文は「広報おながわ4月号」に記載

企業誘致

問 企業誘致等による固定資産税増や産業振興の取組は

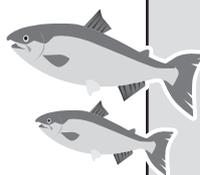
答 企業誘致奨励金の活用、町内の既存業種との兼ね合いを踏まえ、町内外の企業交流の中で種々模索し、企業の誘致を推進します。



魚類ブランド化

問 海面陸上養殖等の魚類ブランド化を進めては

答 基本的には、町内事業者の努力と取組を支え、ブランド化等実現に向けた努力をしていきます。



子育て

問 子育て支援政策の中で、時代や環境の変化を捉えた具体的な取組とは

答 保護者の就労等、家庭の環境変化を踏まえ、子育て支援サービス提供のあり方を探り、これまでのソフト事業の周知と公民連携によるソフト事業を充実します。



出島架橋

問 出島架橋開通に伴う町外者に対する対応は

答 出島地区の方々との協議を踏まえ、標識やトイレの整備、地域おこし協力隊の現在のコンテンツ形成活動等、関係者のアイデアを生かし、行政と地域住民が一体となって島づくりに取り組みます。



施政方針の要諦は

問 「^ま「もっ」といい女川、^ちもっ」といい

答 かなりハッピーな町、もっともっとハッ



交通網

問 町民バス等交通網の整備はどのように考えますか



答 自動運転の実証、ライドシェア、デマンド交通等々、タクシー協会との連携も視野に入れ、さまざまな努力をしていきます。

財政

問 町財政の現状と今後は



答 財政シミュレーションも踏まえ、最小の経費で最大の効果をあげるため、使用済核燃料税の導入、歳出の健全化や水道料金改定も視野に受益者負担の見直しも進めます。

国道398号

問 国道398号バイパスの延伸に伴う大沢地区住民に対する移転対象等相談窓口の対応は



答 バイパス事業も大切ですが、移転対象等の影響を受ける方々が一番大事ですので、そこはきちんと寄り添って復興事業の経験を生かし、細かい対応をしていきます。

住宅

問 住宅政策の複数人数世帯向け物件の補助対象等見直しとは



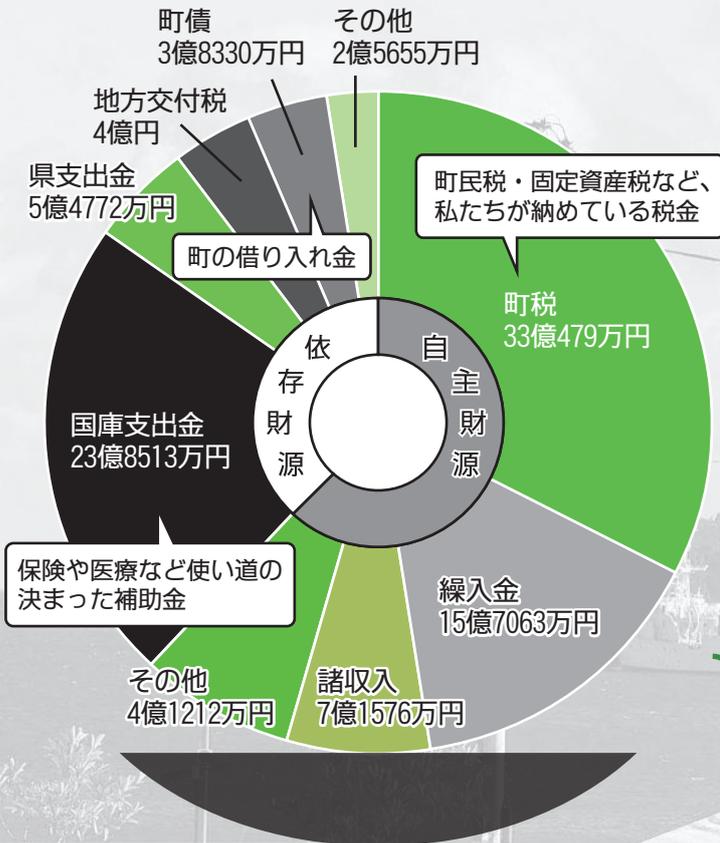
答 複数人数世帯向けの物件が不足する見込みから、世帯の構成を踏まえ、間取り等を考慮して補助対象や範囲を見直すことを考えています。

の編成

一般会計予算
99億7600万円
令和5年度比11.7%増

予算
審査

歳入

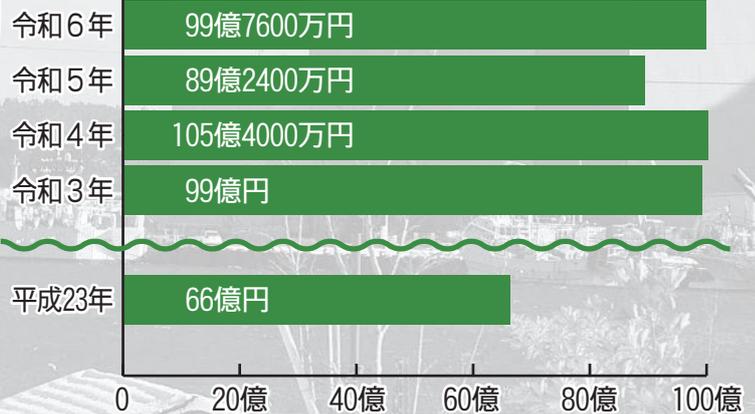


予算審査特別委員会概要

3月6日から11日まで開かれました。当初予算は99億7600万円とし、今後の財政課題・新規事業などを審議し、一般・特別・事業会計予算のいずれも原案のとおり可決しました。

委員長 鈴木 良徳
副委員長 木村 公也

一般会計予算の推移



一般会計予算の説明

令和6年度の一般会計予算は、令和5年度の減少傾向から一転して増加に転じました。その要因として、12月に開通を目指す離島・出島と本土を結ぶ出島架橋の建設事業費に7億9600万円を計上しました。また、町内に事業所や工場を設ける場合に交付する企業立地奨励金に6億8700万円を盛り込みました。

前年度対比約10億円増

ギカイ Check①

家屋の固定資産税 軽減はいつまで

東日本大震災で被災した住宅の所有者の方が、その代替えとして新築取得した住宅について、その住宅の床面積相当分で、最初の4年間で2分の1、その後2年間で3分の1の軽減措置です。

ギカイ Check②

収入超過者への 家賃補助はどの程度

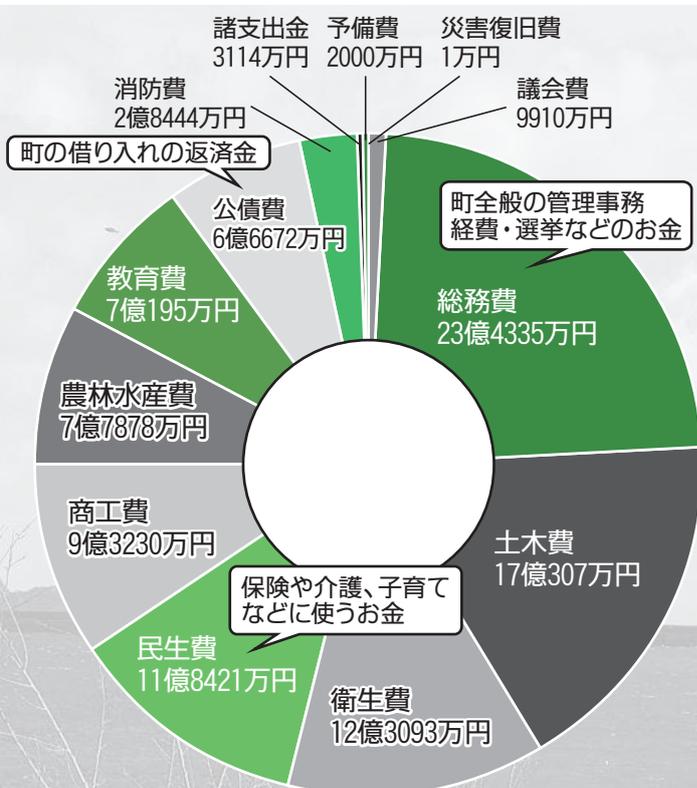
現状は収入超過者が20人、高額所得者が6人で合わせて26人です。家賃が一番高い方は、月額15万6300円で半分程を補助しています。

ギカイ Check③

原発関連の補助金の 見込みは

今年度、電源立地地域対策交付金は5億302万円と試算しています。令和7年度は概算ですが、2号機の30年経過加算として8260万円の追加を予定しています。

歳出



潤いのあるまちに

歳出

婚活を応援します

問 新規事業になりますが補助内容は。

答 県が設置するみやぎ結婚支援センター（みやマリ）への入会登録料11,000円に対する半額（5,500円）補助します。

20代の方は入会キャンペーンで半額となり、町補助との併用が可能ですので、負担なく入会できます。

結婚活動応援補助金

8
万円



結婚を誠実に希望する方を支援する宮城県の公的なセンターです

民間アパート不足に対応

問 災害公営住宅入居者の中で、収入超過者等の受け皿になる複数人の入居可能な間取りが必要では。

答 これまで1Kが6戸、1LDKが43戸、2LDKが2戸、3LDKが4戸の整備になります。今後、事業者からの問い合わせの際にすり合わせを行います。

民間賃貸住宅新築等支援金

6000
万円



完成したアパート

ICT化で保育業務の効率化

問 システム導入時期と、効果は。

答 9月末を目途にしています。保育記録のデータ化により、児童の登所、降所の管理をはじめ、保護者連絡アプリの活用による情報共有を図ります。さらに保育士間の情報共有等により保育サービスの質と量の向上が図られます。

保育業務支援システム

1572
万円



楽しい給食

集会所の建て替えを進めます

問 建設場所等を含め、住民の意向調査等充分に行いましたか。

答 これまで7回ほど打ち合わせを行い、現地での建て替えということになりました。荷物の仮置は、旧浦宿一区集会所を使用します。

大沢安住集会所建設工事（解体含む）

8040
万円



完成した浦宿一区集会所

力強いまちに

共済で転ばぬ先の杖

問 昨年来海水の高温化で貝類のへい死が多くなっていますが加入促進は。

答 ホタテで約90%、カキで約40%の加入率になっています。6年度は加入者の個人負担金に対し、35%補助になっており、制度の周知を進め加入促進をします。

漁業共済加入促進事業補助金

3395万円



作業中の養殖業者

任期後の定住を期待

問 令和5年度の活動人数と6年度の募集人数は。

答 現在女川町観光協会に2人、女川未来会議出島プロジェクトで3人が活動しています。今年度3人増の計画で、8人体制を目指しています。

地域おこし協力隊募集業務委託料

284万円



令和6年度第1号の隊員（中央）

特色のある商店街を

問 事業の目的、内容の説明を。

答 町内での新規創業者、事業承継者等へ支援することにより、商工業の振興を図り、活性化及び雇用の確保につなげる。新築費用は上限200万円（補助率2/3）、賃貸等内装費用は上限100万円（補助率2/3）等となります。

創業等支援事業補助金

1100万円



女川レンガみち周辺

ツール・ド・東北新たな体制で

問 これまで予算計上がなかったのでは。

答 これまでヤフー株式会社が主体となって開催していましたが撤退しました。河北新報、仙台市、東松島市、石巻市、女川町、南三陸町、気仙沼市と宮城県で構成する一般社団法人で実施することになります。

ツール・ド・東北共催自治体負担金

150万円



みんなで盛り上げよう

子育て政策が充実

積雪時の通学路、子どもたちの安全確保を

問 積雪後、通学路の歩道が凍っており1週間たっても解けていませんが対策は。

答 学校周りの除雪について、役場が全部すべきことか、学校と協力して行うか、さまざまな方法を教育局と協議してみます。

道路除雪融雪作業委託料



1300万円

凍結した通学路 子どもたちの安全を第一に

大切な食料、無駄なく役立てよう

問 入れ替えた備蓄用食糧品は、どのように再利用されますか。

答 能登半島地震の支援、総合防災訓練や地区の訓練等に利用し、また社会福祉協議会やフードバンクに提供、残りは保育所や小・中学校で利用してもらうことを検討しています。

災害対策費



538万円

能登半島地震、こちらが助ける番です

子育てするなら女川で

問 修学旅行費支援補助金の内容は。

答 今年度から始める、子育て支援策のひとつで、小学6年生、中学3年生の修学旅行費用の補助をしたいと考えています。

修学旅行費支援補助金



371万円

思い出いっぱいの修学旅行に

子どもたちに継続した運動の機会を

問 総合スポーツプログラム運営業務委託料とは、どのような事業ですか。

答 小学校低学年を対象としたスポーツ教室で、運動習慣や体力向上につなげようと放課後時間に週1～2回、実施します。

総合スポーツプログラム運営業務委託料



350万円

小学生になっても頑張るぞ

可決

令和6年度 一般会計予算

賛成8人 反対2人



QRコードから動画が見られます
討論は7分10秒から

討論

私はこう考える

賛成

女川町のさらなる
飛躍と発展を願う

宮元 潔 議員

もっといいまち、もっといい未来をスローガンとし、町長の未来へ向け覚悟を持った政策の意気込みを感じます。令和7年以降、女川原発2号機関連の資産税の増収があり当面は財政の心配あり

ませんが、その先を考えると使用済核燃料税の導入も検討する段階にきています。出島架橋では開通後の各インフラ整備や島の魅力、価値をどう伝えるか新たな観光資源となることを願います。国道398号バイパスの延伸では関係者の不安に寄り添うことが求められます。新規事業も加え多岐にわたる適切な予算配分になっており、さらなる飛躍と発展を願い賛成の討論とします。

反対

原発に依存しない
再生可能エネルギー
中心のまちづくりを

阿部 律子 議員

財政調整基金14億円を取り崩しての予算です。事務費では2回目のシーリングを設定し約3000万円の経費を抑えた努力は評価します。必要な事業もありますが本町の身の丈に合った財政運営

を求めます。能登地震を教訓に原発の複合災害も想定した避難計画等の見直しも必要です。地球温暖化対策では包括的な省エネ、再エネ補助金の導入に期待し、再生可能エネルギーに力を入れた町づくりを強く主張します。新規施策の修学旅行費支援補助金や給食費支援補助金は評価しますが、今後は給食費の全部無償化を強く主張します。総合的な考えのもと反対討論とします。

令和6年度特別会計予算の主なもの

国民健康保険特別会計

歳入歳出にそれぞれ8億4150万円
(前年度比 770万円の減)

問 昨年よりに被保険者数が減っていますが、保険税が808万円増額になった要因は。

答 前年度と比較し、被保険者の所得金額が増え、所得割が増額になりました。

介護保険特別会計

歳入歳出にそれぞれ8億6810万円
(前年度比 349万円の減)

問 特別養護老人ホームおながわ、グループホームのどかの待機者の人数は。

答 特別養護老人ホームおながわが58人、グループホームのどかは11人です。

後期高齢者医療特別会計

歳入歳出にそれぞれ1億1120万円
(前年度比 624万円の増)

地方卸売市場特別会計

歳入歳出にそれぞれ8270万円
(前年度比 215万円の減)

問 市場経営の安定化を。繰入金が増えていますが、今後の見通しと改善策は。

答 今後は施設管理費が減少していくのと、手数料の減免措置が元に戻れば、収支は改善してくるものと考えます。



今年は大漁を願う

準備基金を活用して

介護保険料改正

基準額保険料月額300円の増



新しくなった浦宿駅待合施設

一般議案

条例の制定

- ◇女川町浦宿駅待合施設条例の制定
- ◇女川町第2号会計年度職員給与に関する条例等の一部改正 ①へ
- ◇女川町介護保険条例の一部改正 ②へ
- ・現行の標準9段階から13段階への多段階化を行い、高所得者の標準乗率の引き上げ、低所得者の標準乗率の引き下げを図るもの
- ◇女川町上水道事業給水条例の一部改正 ③へ
- ◇女川町下水道条例の一部改正 ④へ

①待遇改善での増額は

会計年度任用職員の待遇改善は重要ですが、新年度での増額は、

問

新たに勤勉手当を支給することにより、総額で2400万円程度の増です。

答

新しい勤勉手当を支給することにより、総額で2400万円程度の増です。

②保険料改正には

ていねいな説明を

問

物価高騰の中での上上げはつらいのですが、将来を見通して、多段階化による高所得者への引き上げと、低所得者へは引き下げの内容です。基金を活用していること等、町民の理解を得る説明が必要では。

答

基金は令和22年度までの維持を考えると、なるべく介護保険を使わないような、健康を維持するような算段を取りつつ検討します。

③④一部改正でどうなる

インボイス制度導入での収入増は、

問

上水道で年間約30万円、下水道で約6万円増の見込みです。

公有水面埋立

◇万石浦漁港針浜地区公有水面の埋立

専決処分

◇能登半島地震による被災地への義援金 700万円

問

義援金志賀町500万円、能登町、六水町それぞれ100万円の支出に関する基準は。

答

東日本大震災の時の義援金と同額の支出です。基準はその都度被災規模等に応じて町長協議を行い決定します。

補正予算

歳入歳出に、それぞれ1億6396万円を減額し、予算の総額を94億7809万円としました。主な内容は次のとおりです。

歳出

- ◇ふるさと応援基金 積立金 1896万3千円
- ◇能登半島地震による被災地への義援金 300万円
- ◇非課税世帯等臨時特別給付金 ①へ 3250万円
- ◇物価高騰対策高齢者施設・障害福祉施設支援金 75万円
- ◇物価高騰対策医療機関支援金 20万円
- ◇水産加工団地排出処理施設損失補償金 ②へ 2047万2千円

①対象者は何人くらい

給付金対象者の内訳は。

問

均等割課税世帯1世帯10万円で250世帯。子ども加算

(均等割、非課税世帯)は1人当たり5万円で、150人の見込みです。

②損失補償金の増は

水産加工団地の損失補償金が前年度より増の要因は。

問

契約の半数近くの数(1日1000ト)で、さらに電気代、人件費等の経費10割増によるものです。

人事案件

◇副町長

次の方を選任することに同意しました。

伊丹 相治 氏

閉会中の継続調査

- ◇総務民生常任委員会
- ・地域公共交通について
- ◇産業教育常任委員会
- ・震災後の水産業の現状と課題について



女川2号機再稼働へ

安全対策工事

再稼働までのプロセス

安全対策工事の完了に向けて、各設備の工事および使用前事業者検査が実施されている。

安全対策工事が完了以降、重大事故時等に係る訓練や各種検査を実施するとともに、燃料装荷や原子炉復旧等の作業を行ったうえで再稼働および営業運転再開に向けた準備が進められる。

安全対策の全体像

万一の事故の進展に



津波対策 海拔29m「防潮堤」

じた二重三重の対策が用意されている。中でも津波対策として、最高水位23・1mの津波を想定した海拔29mの防潮堤および盛土堤防の作業が完了している。

完了時期の見直し

安全対策工事が完了時期を「2024年6月」に見直すこととした。これに伴い、再稼働時期は「2024年9月頃」営業運転開始は「2024年10月頃」と想定される。

事故対応の基盤整備

大規模な原子力災害が発生した場合の現地対策本部となる緊急時対策所の設置、整備が完了している。

設備面だけでなく、さまざまな状況を想定した訓練が繰り返し実施されている。

自治体と連携した避難訓練、放射線量測定などの訓練も実施された。

使用済燃料乾式貯蔵施設

再稼働に伴い、女川2号機の使用済燃料プールが、再稼働から4年程度で貯蔵容量の上限に達する。使用済燃料を発電所



現地対策本部となる緊急時対策所

から搬出するまでの間、発電所の敷地内で一時的に貯蔵する施設として新たに設置される。

使用済燃料を収納するための乾式貯蔵容器は、放射性物質の閉じ込め、放射線の遮へい、臨界防止、除熱の4つの安全機能を有する。

議会より

2号機再稼働へ向けた安全対策の説明を聞き、二重三重の徹底された対策を目の当たりにしました。今まで以上の安心・安全を築き、住民へ向けてもビジョンを示してほしいと思います。



町内建設業の実態は

建設組合

「懇談会」身近な町内事業者の現状と課題を伺いました。今後の議会活動に活かします。

公共施設整備対策特別委員会

Public Facility

一般質問

一般質問は、町政に関して議員が質問を行い、新たな施策の提案や意見を述べ、時には是正を求め、町政をより良い方向へ導くものです。

7 議員が質問

ズバリ

町政を問う

宮坂 千尋議員…………… P 13

- (1) 地域の魅力を活かした休憩場所を
- (2) 女川町公式LINE導入の検討は

隅田 翔議員…………… P 14

- (1) 町政100周年事業で活性化を
- (2) 能登半島地震の教訓を生かして

阿部 薫議員…………… P 15

- (1) 港湾、漁港の現況と安全対策確立
- (2) 指定避難所の今後は

鈴木 良徳議員…………… P 16

- (1) 出島架橋完成行事の計画は
- (2) 学校部活動地域移行の準備状況は

高野 晃議員…………… P 17

- (1) 住民の不安に向き合う原発行政を
- (2) 民有空き地の雑草問題は
- (3) 加齢性難聴に問題意識を

阿部 律子議員…………… P 18

- (1) 能登半島地震の教訓と避難訓練
- (2) 「国保の県単位化」の現状と課題

鈴木 公義議員…………… P 19

- (1) どうする人口減少対策
- (2) 温暖化に向けた水産振興は
- (3) 能登半島への支援は

※ 3問目の一般質問は、紙面の都合上、すべて見出しのみの掲載としています。

次回の定例会は6月17日からの予定です。

なお、議会中継は女川町議会ホームページで配信しますので、ご視聴願います。

詳しくは、町議会事務局(電話54-3131内線312)へお気軽にお問い合わせください。

みやさか
宮坂
ちひろ
千尋
議員



QRコードから
一般質問の動画
が見られます



問 地域の魅力を活かした休憩場所を

答 関係部局と協議し検討します。

答弁者 産業振興課長



「オレンジハウス」有効活用を

問 現状、利用者がいないオレンジハウス。熱中症対策の課題が示されるマッシュパークへ移設してはどうですか。

答 オレンジハウスについては、常設の建築物として設置しています。また、交付金を活用しているため目的外使用を行う場合、交付金返還を求められる理由から議員より提案をいただいた内容を実施することは非常に難しいと考えます。
施設整備の可否につい

ては、指定管理者を含め関係者と協議・検討します。

問 公園利用者の休憩場所にとどまらず、海の生き物の展示等を行い、海岸広場全体としての魅力を高める活性化対策としてはどうですか。

答 生物の飼育展示は、専門的な人材や施設の確保が非常に難しく難易度が高いと考えます。写真やパネル展示といった部分については、今後の課題として、検討します。

問 女川町公式LINE導入の検討は

答 情報発信ツールとして活用を検討

答弁者 総務課長

問 幅広い世代で利用者が多いLINEは災害時や緊急時、正しい情報を即時に発信するだけではなく、欲しい情報を選んで受け取る利便性にも優れています。全国的にも活用が広がっていますが本町の導入の検討について伺います。

答 LINEは、既に全国6割以上の自治体で活用されていて、地域住民に対する身近な情報収集等のツールとして利用されています。特に、地方自治体におけるLINE

サービスの活用については、国の関係機関からガイドラインが提示され、デジタル化社会を背景とした情報発信ツールとしての活用や、セキュリティ対策等の留意事項が示されています。

本町においても行政情報の発信等のツールとして、これまでの「X」の活用のほか、LINEをはじめとし、エリアメールやその他SNS等も除外せずに今後の導入を検討します。



情報発信に即時性と利便性を

す
み
た
隅田

し
よ
う
翔議員



問 町政100周年事業で活性化を

答 地域の皆様と一緒に取り組む

答弁者 町長

QRコードから
一般質問の動画
が見られます



町政100周年事業はこれまで町を築いてきた先人を敬い、新たな100年へと町政を推進する絶好の機会です。

問 記念事業として、ペタンク大会やグラウンドゴルフ大会、音楽イベントなど町民が主体的に関わり楽しめる事業展開を。

答 関係団体からの提案、町民会議や実行委員会などのプラットフォームの場をおとして、町の伝統も重視しつつ、新しいアイデアや提案をいただき

具現化に向けて取り組み、100周年の大きな節目をみんなで盛り上げ、次に向かう力に変えていきたいと考えます。

問 事業の成功には計画作りも重要です。今後の実施に向けたスケジュールは。

答 令和6年度に役場内にプロジェクトチームを立ち上げ、地域の皆様と一緒に事業化に向けた体制をつくり、7年度の中途から8年度にかけて事業を実施する計画です。



町民主体の100周年事業を

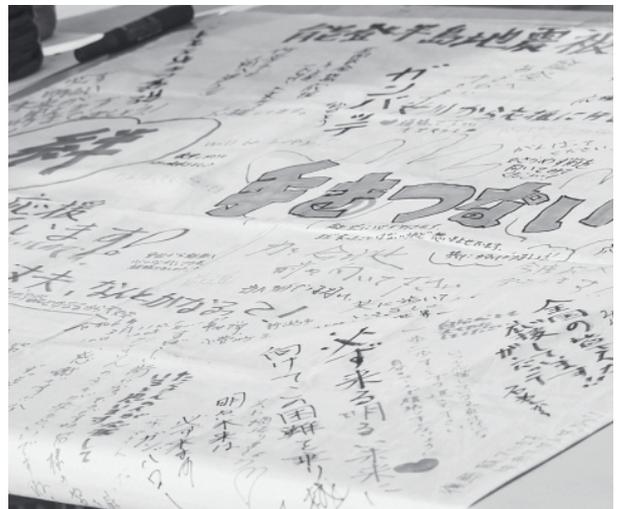
問 能登半島地震の教訓を生かして

答 有事に備えた備蓄品の整備を行う

答弁者 町長 企画課長

問 令和6年能登半島地震の被災地では、簡易トイレなど備蓄品の不足が指摘されています。本町での災害時における簡易トイレ等も含めた備蓄品の確保状況は十分ですか。

答 簡易トイレや備蓄食料等は一定程度を備蓄しています。災害の規模等により備蓄品が不足するような場合には、災害協定を締結しているさまざまな企業に随時、要請を行い、補充していきます。



能登半島の被災者へ想いを寄せて

問 震災から復興へと歩みを進める本町の町づくりや行政の取組は被災地の参考の一つになります。それを「女川モデル」としてまとめ上げて国内外の被災地の復興の一助にしたい。

答 私たちが経験したさまざまな形での協力関係体制、取組をもってサポートすることが重要です。災対本部会議録や復興記録誌も一つの材料として体制を整備し、能登半島地区各自治体へのサポートを考えていきます。

阿部 あべ

薫 かおる
議員



QRコードから
一般質問の動画
が見られます



問 港湾、漁港の現況と安全対策確立

答 引き続き、安全対策を講じていく

答弁者 建設課長

問 各港に設置済みの救難用はしごの安全性は万全ですか。また、設置予定数量に対しての完了数と今後の設置計画は。

答 能登半島地震の深刻な被害を目にし、我々も13年前の被害状況を振り返る必要があると思います。漁港の安全対策を伺います。

答 国土地理院の公表値によれば、町内に設置してある電子基準点では、震災直後に約89センチの沈降が記録され、令和3年2月までの10年間で約63センチの隆起が記録されています。

答 本町管理13漁港に設置しているはしごについては、年一回安全性の確認を行っています。

また、はしごの設置予定数は全体で157基となっていて、令和5年度末までに120基の設置が完了する見込みです。令和6年度以降残りの37基の設置を予定しています。

出島架橋開通後の出島、寺間地区は、来島者の増加が予想されますが漁港での安全対策は。

答 観光担当課である産業振興課や関係機関との調整を図り、漁業者ならびに観光客にとってより良い漁港施設内の安全対策を進めていきます。



さらなる安全対策の改善を

問 指定避難所の今後は

答 災害想定に応じて見直しを検討

答弁者 企画課長

問 水害、土砂災害、高潮、津波、原子力災害等における各地区避難所の見直し案は。

答 災害対策基本法および女川町地域防災計画に基づき41カ所を指定しています。

現在指定避難所の町内総数は。

女川町防災ハザードマップに掲載されている指定避難所に関して、津波浸水区域の設定に伴う見直し案について伺います。

宮城県が公表した津波浸水想定の見直しにより浸水する指定避難所が11カ所ありますので、津波災害時の避難所としての指定を解除するなどの見直しを行います。

具体的提案があった場合には、その用地が各種別の災害避難所や避難場所として安全な場所かどうかなど総合的に確認のうえ検討します。



どうする避難所の見直し案は

鈴木 良徳 議員
すずき よしのり



QRコードから
一般質問の動画
が見られます



問 出島架橋完成行事の計画は

答 開通当日に完成式典を実施します

答弁者 建設課長 教育局長



完成が待たれる出島架橋

いよいよ本年の12月には出島架橋の完成です。
令和6年度の事業計画において、12月完成予定の出島架橋完成記念事業の概要は。
出島架橋開通当日に完成を記念して、来賓および島民関係者を招待し、完成式典を開催する予定です。式典の詳細については、現在調整中となっています。
女川町スポーツ協会では、うみねごマラソン

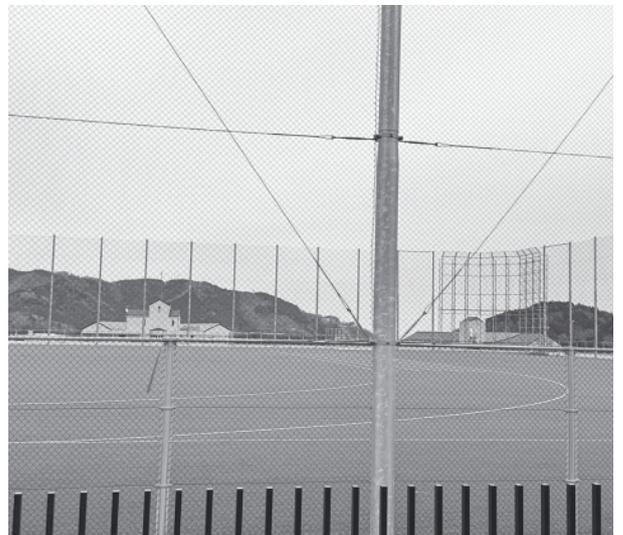
大会復活を視野に架橋を駆け抜けるロードレース開催の考えもあるようですが、スポーツ協会単独では難しいので、町と町教育委員会も交えて実行委員会体制のもと公民連携で行ってはどうですか。
女川町スポーツ協会が、どのような内容のイベント開催を考えているのかをまず伺ってから、町として協力できる部分は対応していきます。

問 学校部活動地域移行の準備状況は

答 地域移行を見据えて部活動を精選

答弁者 教育長

中学校部活動のあり方が変わろうとしています。
令和5年度から令和6年度以降の本町の学校部活動地域移行の課題は。
スポーツ関係団体と意見交換を行い、まずは外部コーチの活用を含めて少しずつ進めていくこととまとまりました。子どもたちの様子や顧問の先生の考え方も踏まえて進めていきます。
国県として、市町村として、部活動の学校教育の一環としての位置づけが、将来的に社会教育に移行する流れですか。



学校部活動の今後は

平日の部活動は、休日の地域移行が県全体で整ってからとされていて、まだまだ不透明な部分が多々あります。
学校部活動は、仮に地域移行になったとしても学校密着型活動が理想と考えますが、町としての考えは。
子育て中の先生が子どもを預けて部活動に来る実態もあり、クリアしなければならぬ課題もあります。

たかの
高野

あきらの
晃議員



QRコードから
一般質問の動画
が見られます



問 住民の不安に向き合う原発行政を

答 審査の中で評価されていると認識

答弁者 町長 企画課長

問 能登地震の状況を受け、本町でも政府の地震調査委員会に対し女川原発周辺100キロの海域を含めた活断層の調査や評価を求めるべきでは。
答 これまでの審査の中で評価はされています。新たな知見等が出てバックフィット等への対策が求められるれば対応していくものと認識しています。

問 モニタリングポストについて原子力規制庁は複数の通信業者を利用した多重化の強化、放射線量を測定できるドローンの導入など多様化を進める方針ですが、そのような対策はとっていますか。
答 女川原子力発電所では、震災前から通信の多重化を行っていたと確認しています。



複合災害時の避難経路は（撮影：木村博之）

問 民有空き地の雑草問題は

答 町も協力して繰り返し改善を促す

答弁者 町民生活課長

答 引き続き状況把握に努めます

問 加齢性難聴に問題意識を

答 個人の所有地の除草等は、所有者自らで行ってもらうのが原則です。

問 町では民有空き地の雑草問題について、どのような対応をとってきまされたか。

答 令和4年度と5年度で計6件の相談があり、いずれも隣地の雑草や害虫への対応についてです。

問 町では民有空き地の雑草問題について、どのような対応をとってきまされたか。

答 令和4年度と5年度で計6件の相談があり、いずれも隣地の雑草や害虫への対応についてです。

答 条例ではなく、自治体の取組を参考に繰り返し現状を伝え改善を促すよう町でも協力します。

問 町内会や近隣住民が好意で雑草処理をするにも問題が起きる可能性を捨てきれません。空き地の雑草除去に関する条例の制定もしくは個別政策での対応はできませんか。

答 町内会や近隣住民が好意で雑草処理をするにも問題が起きる可能性を捨てきれません。空き地の雑草除去に関する条例の制定もしくは個別政策での対応はできませんか。

問 町内会や近隣住民が好意で雑草処理をするにも問題が起きる可能性を捨てきれません。空き地の雑草除去に関する条例の制定もしくは個別政策での対応はできませんか。



宅地に生い茂るススキやマツの木

あべ
阿部 律子議員



QRコードから
一般質問の動画
が見られます



問 能登半島地震の教訓と避難訓練

答 原子力防災訓練への関心を高める

答弁者 町長 企画課長



能登地震を受けて避難の見直しを

原子力防災訓練（1月20日実施）の様子を登米総合体育館まで移動し視察してきましたが、
問 町民33人参加の経緯と、今後参加者を大幅に増やすための具体策は。
答 栗原市瀬峰地区に避難することになる行政区を対象に募集し、33人の応募がありました。他市町の訓練などを参考に参加者の拡大を検討します。
問 今回の携帯アプリ活用の状況と、活用できない人への対応は。

答 アプリの利用者は33人中16人でした。アプリ対応が難しい方は従来どおりの方法で避難所まで移動いただきます。
問 能登半島地震を受けて（津波、道路の寸断、家屋の倒壊、モニタリングポストの損壊、停電等）の避難計画、避難訓練に活かすべき教訓は。
答 原子力防災を行う前提として、自然災害への防災対策や取組が求められていることが示されたものと考えています。

問 「国保の県単位化」の現状と課題

答 今後示される県内統一税率を注視

答弁者 町長 税務・町民生活課長

2018年に始まった「国保の都道府県単位化」から6年が経過。町の努力もあり2億円の繰入れで大幅な負担増は避けられています。が、
問 国保財政の現状について、以前全国知事会で国へ1兆円の財政支援を要望してきた経緯等も含めて、取組状況は。
答 国保税の負担率を協会けんぽ並みに引き上げるため、平成26年に全国知事会が国に公費1兆円の投入を要望し、現在は3400億円の支援があ



国保税が高くて支払いが大変

りませんが、引き続き公費の拡充を求めています。
問 滞納状況の実態と、短期被保険証の取扱いは。
答 令和4年度決算で合計で約1800万円の滞納があり、滞納者には有効期限6カ月の短期被保険証を発行しています。
問 今後の県単位化の見通しと課題は。
答 令和12年度に税率の県内統一を目指していますが、最終税率が不明のため、注視していきます。

鈴木 公義 議員



QRコードから
一般質問の動画
が見られます



問 どうする人口減少対策

答 人口減少抑制対策を継続的に実施

答弁者 企画課長

問 国立社会保障・人口問題研究所の「将来推計人口」が公表されました。2050年の本町の人口は52・4割減の3062人となり、減少率は県内で4番目となっています。



町民会議で活性化を

答 人口減少抑制のため、直近5カ年の年少人口から将来も生産年齢人口を現状同様に維持できるものと考えています。定住促進事業補助金などの事業を実施しながら町の魅力を伝える営業力、発信力の強化を図り地域の総合力を高めていきます。

問 温暖化に向けた水産振興は

答 新たな魚種等での養殖業に向け

答弁者 産業振興課長

問 近年の地球温暖化の影響と見られる周辺の海水温度の変化により、本町の水産業にも不気味な影が近づいています。サンマの不漁、イサダ等春漁の不漁もあり、水産加工業者の原料不足が見られます。水産養殖においても、ホタテ、カキ、ホヤのへい死が多くなっています。



大型定置のイワシ水場

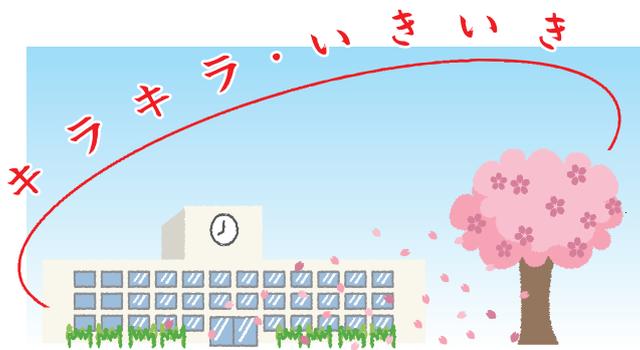
答 事業者の経営安定を図るため、資金を借入した際に係る利子補給制度を構築し、支援をしています。が、次年度以降も継続する予定です。

問 能登半島への支援は

答 被災地のニーズを把握し継続する

答弁者 総務課長

女川で輝いている人、団体を紹介しています。



宮城県知事賞受賞 ほや茶づけ

地域とのふれあいを大切に



地域とのふれあい、庁舎内で販売

社会的・職業的自立をめざして

女川高等学園は、平成28年4月開校。3年間全寮制を特徴とし、普通教科の学習に加えて、専門教科(サービス・食品製造・福祉)の実習や産業現場等における実習を中心に、知識や技能を培います。

1年生は10日間程、町内の事業所で研修します。就職率はほぼ100%で女川町に住み、仕事をしている生徒さんも複数います。

これまで、宮城県水産加工品品評会で、ほや茶

づけが「宮城県知事賞」を、また、ぼうさい甲子園では「グランプリ」を受賞するなど、何度も賞をいただいています。

昨年は女川町庁舎内で、コーヒー等の販売を行い、町民の皆さんとのふれあいを行ってきました。

校内(白亜館)で「カフェ」も、ときどき営業しています。

生徒さんたちは女川が大好きで、駅前での食事や、ゆぼっぼ、釣りなどを楽しんでいそうです。

議会より

町内の事業所や区長さんをはじめ、多くの皆さんとのふれあいを大切にしている生徒さんたち。町内で仕事をし、がんばっていることを、とても心強く思っています。議会としても活動を応援しています。皆さん、「カフェ」にどうぞお立ち寄り下さい。

実習の様子



- | | | | | |
|------|-------|------|------|------|
| 議長 | 発行責任者 | 委員 | 副委員長 | 委員長 |
| 佐藤良一 | 佐藤誠一 | 鈴木公義 | 高野晃 | 宮坂千尋 |
| | | 阿部律子 | 隅田翔 | |



4月5日、しおかぜ保育所の入所式が行われました。新しく入所したおともだちの前で元気よく返事をするお姉さん、お兄さん、立派でした。

しおかぜ保育所入所式
表紙説明